

昭和八年度

時局匡救醫療救護實施概況

内務省衛生局

国立保健医療科学院蔵書



10012044

P-B
P 128
3

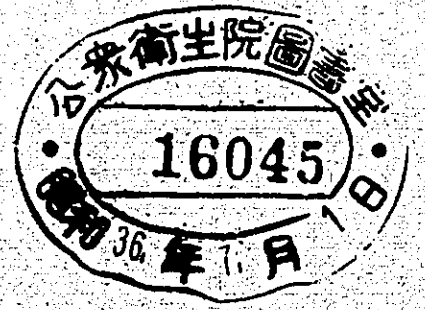
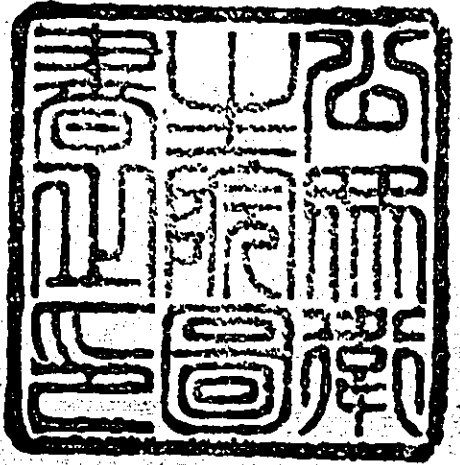
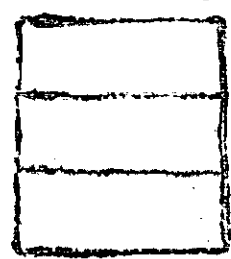
P-B
P 888
3

16045

18081

昭和36年7月1日
塚原政繁氏
寄贈
公衆衛生院

P-B
P128.8
3



昭和八年度時局匡救醫療救護實施狀況

目次

第一	實施狀況	一
第二	道府縣ニ於ケル醫療救護費	二
第三	醫療救護成績總括	三
第四	道府縣ニ於ケル醫療救護實施概況	四

一、	診察施設別患者數及治療日數	一
二、	醫療救護取扱患者年齢別	二
三、	本施設ニ於テ取扱ヘラル疾病	三

京 都 府	一〇	大 阪 府	二	神 奈 川 縣	三
兵 庫 縣	一五	長 崎 縣	六	新 潟 縣	一〇
埼 玉 縣	二	栃 木 縣	三	奈 良 縣	七
愛 知 縣	六	靜 岡 縣	三	山 梨 縣	三

昭和三十八年度臨時救護費支拂額表

第五 醫療救護ニ關スル諸表

- 第一表 醫療救護取扱患者數及治療日數
- 第二表 醫療救護取扱患者年齡別
- 第三表 醫療救護取扱患者病類別

滋賀縣	岐阜縣	長野縣
宮城縣	福島縣	青森縣
山形縣	秋田縣	福井縣
石川縣	富山縣	福井縣
廣島縣	山口縣	岡山縣
香川縣	愛媛縣	和歌山縣
大分縣	佐賀縣	高知縣
宮崎縣	鹿兒島縣	熊本縣
其ノ他ノ府縣		沖繩縣

時局匡救醫療救護實施概況

第一 實施狀況

昭和八年度ニ於ケル時局匡救醫療救護ハ、昭和七年度ヨリ開始セラレタル事業ノ繼續トシテ御下賜金百貳拾萬圓ト之レト同額ノ國費トヲ以テ實施セラレタリ。

其ノ方法トシテハ昭和七年八月二十日ノ御沙汰ニ依ル宮内大臣ノ訓令内務次官及衛生局長ノ通牒ニ基キ前年度ト同一ノ方針ヲ以テ農山漁村ヲ主トセル醫療救護ノ充實ヲ期シ成ル可ク既設ノ醫療機關ヲ利用シ、財團濟生會其ノ他ノ醫療並ニ救護團體ノ活動ヲ德憑セリ從テ救護ハ委託診療ニ依ルモノ最モ多ク之ヲ爲シ得ザル地方ニハ出張診療又ハ巡回診療等適當ノ方法ヲ採レリ。

道府縣ニ於テハ前年度ノ經驗ニ基キ其ノ施設ハ愈々整備充實セラレ漏救溢救ヲ防ギ益々主旨ヲ普及徹底セシムルヲ得タリ。

道府縣ニ於ケル施設トシテハ、地方ノ實情ニ徴シ、道府縣自ラ行フモノト、財團濟生會ヲ通シテ行フモノトノ二種アリテ、此ノ兩者ヲ併セ行ヒタルモノト何レカ一方ノミヲ行ヒタルモノトアリ。

實施ハ委託診療出張診療及巡回診療ノ三途ヲ便宜按配セリ。委託診療ハ地方醫師會齒科醫師會等ト連絡協調シテ開業醫師ニ診療ヲ委託スルモノニシテ、各道府縣ハ恩賜救護券ヲ發行シ、之レヲ市町村又ハ警察署等ニ配分セリ。市町村又ハ警察署ニ於テハ多クハ要救護者名簿ヲ作製シ必要ナル患者ニ對シテ救護券ヲ交付シ患者ハ自由ニ開業醫師ヲ選擇シテ診療ヲ受ケシムルコトトセリ。又入院手術等ヲ要スルモノニ對シテハ、夫々特別診療券ヲ發給セリ。

出張診療ハ開業醫師ナキ町村ニ對シ、隣接町村ノ醫師ヲ出張セシメテ一定ノ日時ヲ定メ診療ニ從事セシムルモノニシテ、一ヶ月五回又ハ六回ノモノ多數ヲ占メタリ。出張診療ノ場所ハ特ニ診療所ヲ設置シタルモノアリ。又町村役場小學校、寺院等ヲ利

道府縣道	府縣ニ於テ直接行フ施設		恩賜財團濟生會ヲ通ジテ行フ施設		合	
	御下賜金	國費	御下賜金	國費	御下賜金	國費
新	50,126	7,500	—	—	50,126	7,500
崎	55,625	7,125	1,625	—	57,250	7,125
群	6,080	5,500	—	—	11,580	5,500
千	50,000	5,000	—	—	55,000	5,000
茨	10,100	10,000	—	—	20,100	10,000
初	11,100	10,000	—	—	21,100	10,000
奈	9,100	8,000	—	—	17,100	8,000
三	3,100	2,000	—	—	5,100	2,000
夏	1,100	1,000	—	—	2,100	1,000
靜	—	—	—	—	—	—
山	—	—	—	—	—	—
鼓	—	—	—	—	—	—
長	—	—	—	—	—	—
宮	—	—	—	—	—	—
野	—	—	—	—	—	—
泉	—	—	—	—	—	—
山	—	—	—	—	—	—
青	—	—	—	—	—	—
岩	—	—	—	—	—	—
網	—	—	—	—	—	—
島	—	—	—	—	—	—
島	—	—	—	—	—	—
石	—	—	—	—	—	—
川	—	—	—	—	—	—
計	210,000	210,000	1,625	—	211,625	210,000

道府縣道	府縣ニ於テ直接行フ施設		恩賜財團濟生會ヲ通ジテ行フ施設		合	
	御下賜金	國費	御下賜金	國費	御下賜金	國費
富	—	—	—	—	—	—
島	—	—	—	—	—	—
島	—	—	—	—	—	—
根	—	—	—	—	—	—
山	—	—	—	—	—	—
山	—	—	—	—	—	—
口	—	—	—	—	—	—
山	—	—	—	—	—	—
和	—	—	—	—	—	—
山	—	—	—	—	—	—
島	—	—	—	—	—	—
川	—	—	—	—	—	—
香	—	—	—	—	—	—
愛	—	—	—	—	—	—
高	—	—	—	—	—	—
高	—	—	—	—	—	—
大	—	—	—	—	—	—
大	—	—	—	—	—	—
佐	—	—	—	—	—	—
能	—	—	—	—	—	—
宮	—	—	—	—	—	—
宮	—	—	—	—	—	—
島	—	—	—	—	—	—
沖	—	—	—	—	—	—
合	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—

二、道府縣費支出豫算額

道府縣ニアリテハ本事業ニ對シ特ニ道府縣會ノ決議ヲ經テ、醫療救護費ヲ支出シ御下賜金及國費ト合ハセテ醫療救護ノ資ニ充
 テ或ハ特ニ事務費ハ縣費ヲ以テ支辨シ御下賜並ニ國庫ノ醫療救護費ガ殆ンド全部救護ノ資トナルベキ様考慮ヲ拂ヘルモアリ。
 道府縣ニ於ケル豫算額ヲ示セバ左ノ如シ。



種別	道府縣ニテ直接行ヒタル施設		恩賜濟生會ヲ通ジテ行ヒタル施設		總計	
	患者數	治療日數	患者數	治療日數	患者數	治療日數
出張診療	107,823	1,668,325	5,000	47,800	102,823	1,716,125
巡回診療	2,568	37,123	1,100	11,000	3,668	48,123
其ノ他	8,627	127,123	1,100	11,000	9,727	138,123
合計	118,988	1,832,571	7,200	69,800	126,188	1,902,371
往診	107,823	1,668,325	5,000	47,800	112,823	1,716,125
外來	2,568	37,123	1,100	11,000	3,668	48,123
入院	8,627	127,123	1,100	11,000	9,727	138,123
合計	118,988	1,832,571	7,200	69,800	126,188	1,902,371

二、醫療救護取扱患者年齢別

時局匡救醫療救護ニ於テハ醫療ノ資ナキ無告ノ窮民ニ對シ其ノ年齢ヲ問ハズ老若男女總テノモノニ救護ノ恩惠ニ浴セシムルニ努メタリ。本救護ニ浴シタル八十八萬八千八百三十九人ノ内男子ハ四十三萬三千三百八十八人ニシテ女子ハ四十五萬八千五百二十一人ニ達シ十五才以上ハ左記年齢級ニ於テハ何レモ女子ニ於テ受療者多ク、十五才未満ノ兒童幼年及乳兒ニ於テハ女子ヨリ男子ニ多シ。

昭和八年度醫療救護取扱患者年齢別

年齢	男	女	計
一歲未満	10,038	9,336	19,374
一歲以上五歲未満	47,457	43,234	90,691

年齢	男	女	計
五歲以上十歲未満	45,210	42,905	88,115
十歲以上十五歲未満	43,637	43,050	86,687
十五歲以上二十歲未満	31,694	33,354	65,048
二十歲以上三十歲未満	48,765	53,767	102,532
三十歲以上四十歲未満	53,537	67,554	121,091
合計	193,631	193,616	387,247

三、本施設ニ於テ取扱ハレタル疾病

時局匡救醫療救護ニ於テ取扱ハレタル疾病ハ凡ユル種類ニ涉リ居ルモ其ノ内主要ナル疾病ト受療患者數トヲ列記スレバ左ノ如シ。

- 眼耳及其ノ附屬器ノ疾患 一二二、九九九人
- 消化器ノ疾患 (下痢、腸炎、胃腸ノ潰瘍及虫線突起炎) 一〇四、五七二人
- 神経系ノ疾患 (癱瘓性痲痺、早發性痲呆痲癱等ヲ除ク) 五五、九六六人
- 呼吸器ノ疾患 (氣管支炎、肺炎、肋膜炎、結核等ヲ除ク) 五一、四九一人
- 氣管支炎 五〇、九二〇人
- 皮膚及皮下結締組織ノ疾患 四七、九五七人
- 流行性感胃 四二、三九九人
- 下痢及腸炎腸潰瘍 (二歲未満モ含ム) 三七、三〇四人
- 結核性疾患 三三、七五四人
- 胃及十二指腸ノ潰瘍 三一、〇八九人
- 不慮ノ傷害 三二、二二八人
- 肋膜炎 二二、二二六人

昭和八年度中ニ於ケル實施ノ成績ハ極メテ良好ニシテ受診療患者數二二・九七三人(内濟生會九・〇六五人赤十字社支部三・九〇八人治療延日數四七六・三二八日(内濟生會二五一・四九九日赤十字社支部二二四・八二九日)ノ多キニ達シ此等ノ患者ハ何レモ聖恩ノ優渥ナルニ感泣シツツアリ

其ノ他特記スヘキ事項

受療患者ハ何レモ貧困ニシテ病魔ニ犯サレナガラ醫藥ヲ受クル能ハザルモノ又ハ會テ多少ノ資力ヲ有セシモ永キニ亘ル病魔ノタメ全ク消費シ空シク病床ニ呻吟セルモノ或ハ引續ク家族ノ病氣ニテ貧困ニ陥リタル等洵ニ同情禁スル能ハザルモノ多ク此等ノ患者ハ本施設ノ續行開設ニ依リ醫藥ノ給與ヲ受ケ愁眉ヲ開クニ至リ長クモ皇室ノ赤子ヲ慈ミ給フ御聖旨ヲ拜シ何レモ御仁徳ノ厚キニ感激セサル者ハナク中ニハ毎朝東方ニ向ヒ遙拜シテ皇室ノ御隆盛ヲ祈リ全快後ハ御聖恩ノ萬分ノ一ニ報ヒ奉ルベキ旨書信ヲ寄セ或ハ従事員ニ直接談スル等アリ而シテ重患者等ハ農村ニ之カ運搬ノ設備ナキ爲妻ハ夫ノ背ニ夫ハ妻ノ背ニ相扶ケ合ヒ子ガ親ヲ農業用「リヤカー」ニ乗セ往復スル様ハ實ニ涙グマシキ程ニシテ何レモ聖恩ニ感激シツツアリ其ノ他二三ノ實例ヲ舉グレバ左ノ如シ

實例ノ一

市 ○ 八 ○ (泉南郡多奈川村)

同人ハ赤貧洗フカ如キ困窮ノ上ニ十數年前ヨリ眼病ニ罹リ多年煩悶ノ生活ヲ續ケ喜ビノ日トテハ一日モナク子供ハアレドモ貧困ニシテ父ノ治療費ヲ供スル能ハズ一家ハ日夜悲慘ノ日ヲ過シツツアリタリ然ルニ昭和七年度ヨリ恩賜救療事業ノ實施ト共ニ之ガ治療ヲ受ケ繼續シタルニ腹膜膿症ニシテ一時盲目トナリシ程ノ難病モ快方ニ向ヒ現在ハ全治スルニ至レリ。暗黒ヨリ光明ヘ浮ビ出シタル同人並ニ家族一同ハ聖恩ニ感激シ感涙ニ咽ビツツアリ

實例ノ二

茂 ○ 小 ○ (中河内郡下小阪)

同人ハ數年前夫ニ死別シ寡婦トナリ爾來カーボン紙製造工場一女工トシテ働キ日々勤勉精勵スルモ尙月收二十圓ヲ出デズ子供七人ヲ抱ヘ多人數ノ生活ヲ支持スルコトヲ得ス家賃等ノ滯納ハ三ケ年ノ長キニ亘リ悲慘ナル生活ヲ續ケ疲憊セル身ニ鞭打チテ奮闘シツツアリシモ二女〇代(十才)ハ中耳炎ニ罹リ引續キ養子譽〇五才モ同病ニ犯カサレ一家ハ施スヘキ術モナカリシカ恩賜救療濟生會委託患者トシテ醫師ノ診療ヲ受ケシメタルニ快方ニ向ヒ有難キ恩賜ニ感激シ一家ハ一致協力シテ歡喜シツツ更生ニ邁進シツツアリ

實例ノ三

稻 ○ ツ ○ (南況内郡道明寺村)

同人ハ永年心臓病ヲ患ヒ病床ニ惱ミツツアリシモ家計困難ノタメ醫師ノ診療ヲ受クルコト能ハス只死ヲ俟ツノミナリシカ同村常設委員ヨリ恩賜救療ヲ受ケヘキ通知ヲ受ケ感激シツツ治療券ノ交付ヲ受ケ昭和八年六月十二日ヨリ之ガ治療ヲ受ケタル所漸次快方ニ向ヒ三ケ月餘ニシテ家事ノ手傳フスル様ニナリ一家ハ再生ノ思ヒニテ家業ニ勵ミツツ聖恩ニ感激シツツアリ

實施ノ概況

實施ニ付テハ前年度内務省訓令竝ニ次官通牒ノ趣旨ヲ體シ委託診療、出張診療、巡回診療等ノ施設ヲ爲ス。本年度ニ於テハ漸ク本事業ノ趣旨普及ヲ見タリ。昭和八年八月以降貧困妊婦ノ爲メ助産事業ヲ開始シ、交通竝ニ隣接産婆不在町村ノ狀況ヲ斟酌シ管下二ヶ町村ニ對シ産婆ヲ駐在セシム其他ノ市町村ニ對シテハ委託助産ヲ爲サシム。昭和八年十月内務次官通牒ニ依リ早魃被害ノ最モ甚ダシト被認ルル十八ヶ町村ニ對シ恩賜醫療券ヲ増發シ一方又要救療者ノ爲メ同年十一月十九日ヨリ毎日曜日臨時巡回診療班三班ヲ派遣シ右町村中七ヶ村ハ當該村居住ノ醫師ト協力診療ヲ爲セリ。昭和九年三月更ニ管下在住ノ盲人ニ對シテモ、聖旨ノ存スル處ヲ治ホカランガ爲メ、恩賜濟生會神奈川縣病院其ノ他三ヶ所ニ

於テ一、二七一名ニ對シ開眼檢診ヲ行ヒ開眼見込メタル者九〇名ノ内三十二名ニ對シ前記病院ニ入院セシメ開眼手術ヲ施行シ
他ハ次年度ニ於テ施行ノ豫定ナリ

其ノ他特記スベキ事項

特記スベキ事項ニ付テハ前年度分報告ノ際記載シタル如ク納稅成績或ハ村ノ人氣良ク思想上ニ誠ニ好影響ヲ與ヘタルハ顯著ナ
ル事實ニシテ村當局ハ一樣ニ之カ事實ヲ具申セリ
津久井郡佐野川村ハ醫師ヲ招スルニハ一回少クトモ十圓乃至十五圓ヲ要スル僻村ナルカ先般巡回診療班ノ手當ヲ受ケ居リシニ
老婆ノ死去ノ際其ノ死亡診斷書ヲ乞ヒタルヲ以テ交付セシニ「コレハ金ダ」ト稱シテ再三押頂キ辭去シタルガ農村ノ疲弊甚シ
キ今日ニ於テハ死亡診斷書ニ十圓ヲ取ラルルハ可成ノ苦痛ニシテ「金ダ金ダ」ト感謝スルハ當然ナリ
又恩賜醫療券ヲ發行スル都度開業醫ト屢々密接ニ折衝スル村當局ハコレガ爲村内ノ衛生状態ヲ知悉シ豫防衛生ノ上ニモ好結果
ヲ與ヘタリトノ報告モアリ
要スルニ農村不況ノ際殊ニ貧農ガ最モ苦痛トスル醫療費ノ負擔ヲ免カレシム本事業ノ效果ト意義ハ誠ニ重大ナルモノハ照前
云フヘシ



兵庫縣

實施ノ概況

一、救療實施方法

(一) 縣ニ於テ直接施行スベキ救療事項

一、恩賜簡易診療所出張診療

醫師ナキ町村及醫療普及完カラサル隣接數ケ町村ヲ區域トシ一定場所ニ縣ノ職員タル醫師ヲ駐在セシメ其區域内ヲ更ニ
區分シ毎月五回乃至十回宛各所ヲ巡回診療セシム

二、囑託醫出張診療

前項ノ地方中土地ノ狀況ニ依リテハ近接町村在住醫師ヲ囑託シテ定期的五日乃至七日毎ニ出張診療セシム
急救治療ノ必要アルトキハ其ノ都度往診治療セシム

三、一般委託診療

醫師ノ在住スル市町村ニ對シテ其ノ地方ノ公私立病院、開業醫師ニ委託シテ診療券、入院券等ニ依リ診療ヲ爲サシム又
必要ニ應シテハ開局藥劑師ニ委託投藥セシム

本縣ニ於テハ昭和三年御大典記念事業トシテ庶民階級ノ救療ヲ目的トスル計畫ノ許ニ篤志家ヨリ受ケタル寄附金五十五萬圓ヲ
基本トシ庶民病院巡回診療班ヲ(一班ハ醫師及藥劑師各一名ヲ以テ組織ス)組織シ昭和七年八月ヨリ縣下ノ醫師ナキ町村又
ハ醫療普及ノ完カラサル地方ノ住民ニ對シ巡回診療ヲ行ヒ一面醫師アル地方ニ對シテハ委託診療ヲ施行シツ、アリ仍テ今回ノ
御下賜並ニ國費配當金ニ依ル事業トシテハ前記ノ通り醫師ヲ常任セシメ又ハ之ヲ囑託スル方法ヲ以テ救療ノ徹底ヲ期セムトス
尙本救療事業ヲ濟生會其ノ他ノ救療團體ニ委託スルモ一方法ナリト雖モ本縣ニ於テハ既ニ巡回並ニ委託診療ヲ施行シツ、アリ
シヲ以テ之ニ併合實施セシムルコトガ事業ノ統制能率ノ増進並ニ醫師ノ監督等目的達成上便宜ナリト認メ前記(二)救療ノ外庶

一、巡回診療

民病院巡回診療部及其ノ他ノ施設ト併合實施シタリ之カ救療事項ヲ參考ニ示セハ左ノ如シ
醫師ナキ町村又ハ醫療普及完カラサル町村ニ對シテハ毎月二回以上縣ヨリ巡回診療班ヲ派遣シ巡回診療ヲ行ハシム

二、各科専門醫巡回診察

毎月二回以上縣立神戸病院各科醫長一名ヲ交互ニ適宜地方ニ派遣シ診察セシム
三、結核巡回診療
結核性疾患者ハラチオ納付金ニ依ル結核診療ニ移シ可及的一般患者ノ診療治療ノ普及徹底ニ努ム

四、榮養品配給

治療上榮養品配給ヲ必要ト認ムル患者ニ對シテハ日本赤十字社兵庫支部ト協力榮養品ノ配給ヲナサシム
其ノ他特記スヘキ事項
恩賜救療事業ノ開始セラレテ茲ニ一年六ヶ月其ノ間本事業ノ恩惠ニ浴シタルモノ延人員實ニ三十七萬二千四百二十名ノ多數ニ達シ寒村僻地、津々浦々迄恩澤ノ及バサル處ナク此等地方民ノ隨喜感激ヲ推シテ知ルベキモ左ニ其ノ二三ヲ例示セン。

一、全快者ノ感激

兵庫縣城崎郡日○町○原○
田 ○ 勝 ○

本人ハ某中等學校ヲ卒業シ大阪ニ於テ勞働ニ從事シ居タリシガ不攝生ノ結果○病第二期ニ罹リ昭和八年一月歸郷ノ己ムナキニ至レリ。歸郷後本人ハ悲惨ナル生活状態ノ下ニ病床ニ呻吟シツ、アリタルガ偶某方面委員ノ發見スル所トナリテ一月十日ヨリ恩賜救療ノ恩惠ニ浴スルコト、ナレリ。

爾來五十日恩賜救療醫ノ盡力ト皇恩ニ感激シ、本人ノ自重、靜養トニ依リ悲觀スベキ病狀ハ漸次快方ニ向ヒ四月末日ニハ全

ク治癒ノ状態ニ達シタリ。健康回復後ノ本人ハ某製糸工場ニ勤務シタリシガ専ラ其ノ業務ニ精勵シ修養團體ニ加入シテ劍道ヲ以テ身體ヲ鍊磨シ洪大無邊ナル皇恩ノ萬一ニ應ヘ奉ラント期シ居タリシガ本年二月強健ナル身體ニ回復シタルヲ以テ軍人トナリテ國防ノ第一線ニ立チ皇恩ニ應ヘマツランコトヲ期シ現役志願ヲ爲スニ至レリ。
二、出張診療所設置町村民ノ感激報恩
美 方 簡 易 診 療 所

打續ク不況ノ爲メ農山漁村ノ疲弊困憊ハ其ノ極ニ達シ其窮狀實ニ見ルニ忍ビザルモノアリ爲メニ偶々病魔ニ冒サル事アルモ到底醫療ヲ受クルコト能ハズ惜ラ天壽ヲ全ウスルヲ得ザルモノアリタルノ際本事業ニ依リ洪大無邊ノ皇澤ニ浴スルヲ得タル該町村民ノ喜悅例ルモノナシ殊ニ一度此ノ皇恩ニ浴シ疾病ノ苦ヨリ免レタル者ハ皇恩ノ萬一ニ應ヘ奉ラント期シ居ル毎朝東天ヲ九拜シ 皇恩ニ感泣シツ、アル状態ナリ。

三、御仁慈ニ應ヘ奉ラントスル人民ノ行動

恩賜救療ノ恩惠ヲ受ケタル者ハ又ハ現ニ救療ヲ受ケツ、アルモノハ尙更家族ハ勿論親類ニ至ル迄御仁慈ノ宏大ニ感激シ健康ニ注意シ業務ニ精勵シ 皇恩ノ萬分ノ一ニモ應ヘ奉ラントシ殊ニ有馬郡高平村ノ如キハ本年度豫算ニ救食豫算八百餘圓計上シ貧困者ノ救助ヲ爲シ御仁慈ニ應ヘ奉ラント期シ居レリ。
四、出張診療所設置町村民ノ感謝報恩

草山村ハ從來村内ニ開業醫ナク醫療ヲ乞ハムトスルモ遠ク篠山町或ハ京都府天田郡方面ニアラザレバ醫療ヲ需ムルコト能ハザル状態ニテリテ經濟的ニモ時間的ニモ困窮シ居レリ殊ニ貧困者ノ如キハ斯ル状態ノ下ニテ醫療ヲ受クルコト絕對ニ不可能ナリト謂フモ敢テ過言ニアラザリキ而シテ恩賜簡易診療所ノ設置ヲ見ルヤ貧困者ハ言フニ及バズ其他ノ者ニ在リテモ無料又ハ安價ニテ診療ヲ受ケ從來餘程重病ニアラザレバ醫療ヲ受ケザリシ患者モ早期ニ診療ヲ受クルノ恩澤ニ浴シ爲メニ一般村民ノ保健上著シキ向上ヲ見ルニ至レリ。

茲ニ於テ 皇恩ノ有難ナニ感激シタル草山村民ハ從來不完全ナル家屋ヲ賃借シ之ニ當テ居タル診療所ノ設備ヲ改善セシメ
テ企圖シ居タルガ識者間ニ診療所新設ノ議次第ニ高アリ有産者ハ自發的ニ寄附ノ申出ヲナシテ無産者ハ各自交互ニ努力ヲ提
供シテ永遠ニ洪大無邊ノ皇恩ニ應ヘ奉ラントナシツ、アリ、
五、全治者ノ感激

春 ○ 増 ○ 郎

本人ハ數年前ヨリ慢性胃加答兒ニ罹リ多年病苦ニ喘ギ加フルニ家貧ニシテ之ガ治療ノ術ナク全ク不治ノ病トシテ斷念シ一家
悲歎ノ裡ニ暮シ居タリ。

昭和八年八月恩賜救療事業ノ實施ヲ聞キ自ラ進ンデ診療ノ恩恵ヲ受ケ爾來専心之ガ治療ニ努メタル結果本年二月頃ニ至リ殆
ンド健康ヲ恢復シ家族妻子四名深ク御仁慈ニ感激シ居レリ。

六、本事業ニヨル感化

宿痾ニ呻吟スル者ノ常トシテ殊ニ貧困ニ依リ充分ナル治療ヲ受クル事ヲ得ザルモノハ現今ノ社會制度ヲ呪咀シ以テ思想上憂
慮スベキ影響アルモ本事業ノ爲メ愈 皇室ニ對スル崇拜ノ念ヲ昂メ延テハ思想善導上好結果ヲ齎シツ、アリ。

長崎縣

實施ノ概況

昭和七年度ヨリ引續キ恩賜診療施設主體ハ縣トシ御下賜金並國庫配當金ヲ縣費ニ收入シ恩賜診療ニ關スル訓令及恩賜診療要綱
同取扱手續ニ依リ本事業ノ遂行ニ努力シ市町村長、警察官吏、方面委員、區長、醫師、齒科醫師、産婆等ヲ督勵シ萬遺憾ナキ
ヲ期シタリ。

備考

現在出張診療所九ヶ所ヲ有ス

其ノ他特記スベキ事項

地方民ニ及ボシタル影響

本診療事業ガ恩賜ニ基ク救療ナルヲ以テ之ガ恩澤ニ浴シタル者ハ聖恩ノ無窮ニ感泣シ特ニ出張診療所ヲ設置シタル僻陬村ハ從
來病魔ノ冒スコトアルモ醫療ノ途ナキ爲天命ヲ全フスルコト能ハズ醫療ヲ受ケムトスレバ醫師一同ノ往診ニ數千圓ヲ要シタル
爲直ニ貧困ニ陥ルガ如キ悲惨ナル事態ナカラザリシガ之等僻陬地ニ出張所ヲ設置シタル爲要救療者ハ勿論一般村民モ皇恩ノ
厚キニ感泣シ居レリ。

特記スベキ一二ノ事例ヲ擧グレバ次ノ如シ。

下縣郡○原町大字○浦津
漁業戶主○作三女

右日○ニハ小學校生徒ナルガ眼病ニ罹リ遂ニ休學ノ己ムナキニ至リシモ同家ハ數年來ノ打續ク不漁ニテ僅カノ收入ニヨリ辛ク
シテ糊口ヲ凌ギ居ル状態ナレバ到底醫療ヲ受クルノ資ナク此儘ニナシ置クトキハ失明ヲ待ツノミナリト途方ニ暮シ居ルヲ探知
シ直ニ恩賜救療ノ優渥ナル御恩恵アルヲ知ラシメ醫師ニ赴キ檢診ヲ受クル様取計ヒタルニ親子ノ者大ニ感激シナガラ母ハ其ノ
子ノ手ヲ引キツ、雨ノ日風ノ日モ毎日ノ如ク約二里ヲ隔ツル漁村(山路ヲ越ヘテ)ヨリ七十餘日ノ間通院加療ノ効顯ハレ茲ニ
全快致シ再ビ元氣ニ通學スルニ至レリ之偏ニ大御心ニヨルト家族ノ者ハ素ヨリ傳ヘ聞ク者皆感泣セザルハナシ。

下縣郡○原町
漁業戶主○市妻

右藤〇ハ六人ノ子供ヲ有スル八人家族ナルガ打續ク不漁ノ爲生計ハ窮迫ノ極ニ陥リシニ不幸ニモ肺炎ヲ患ヒ遂ニ臥床スルニ至リシモ醫療ノ資ナク且ツ主人ハ看護ノ爲メト多數子供ノ世話トニ出漁スルコト能ハザリシ爲彌々收入絶無トナリ其ノ狀誠ニ惘然タル旨方面委員ノ報告ニ依リ早速入院治療セシメシガ七十餘日ニシテ全治退院シ現在ハ夫婦揃ツテ家業ニ精勵シツ、何レモ天恩ノ厚キニ感激シ居レリ

南松清郡大〇村

右ハ慢性氣管支加答兒ニ罹リ病床ニアルコト十數年而モ貧困ノ爲醫療ヲ受クルニ資ナク病苦ト生活苦トニ追ハレ厭世ノ念ハ日々ニ加ハリ死ヲ求ムル迄ニ昂ジタル折柄出張診療所開設ト共ニ之レガ恩典ニ浴シ昭和八年六月十九日診療醫ノ診療ヲ受ケタルニ慢性氣管支炎、慢性腸炎ノ爲メ腹部ハ膨滿シテ呼吸困難頻死ノ状態ニアリタルニ九ヶ月間ニ亘ル懇切ナル醫師ノ往診並ニ高價藥ヲ以テ治療セル結果昭和九年二月十日全治シタルモノニシテ本人ハ深ク此ノ恩典ニ感激シ居ル者ナルガ前記診療醫ノ妻本年二月頃ヨリ病床ニアルコトヲ知ルヤ今日ニ至ルモ一里餘ヲ隔ル、山路ヲ厭ハズ見舞看護ノ爲日參シ居レリ、

新潟縣

實施ノ概況

一、昭和七年十月一日ヨリ縣内ニ住居ヲ有スル特別稅戶數割一戸平均額ノ十分ノ一以下ノ賦課ヲ受クル者及生活困難ニシテ特ニ事情己ムヲ得ズト認ムル者ニ對シ全縣ニ亘リ委託診療ヲ爲スヲ主旨トセリ而シテ開業醫ナク委託診療ニ依ルコトヲ得ザル僻陬地(二十八箇村)ニ對シテハ四十五箇所ニ月四回ヲ標準トシテ出張診療ヲ實施シ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期セリ。

一、昭和八年度ニ於テハ昭和七年度ノ施設ヲ繼續スルノ外一層本醫療ノ普及徹底ヲ期スル爲救療者ノ範圍ヲ特別稅戶數割一戸平均額ノ五分ノ一以下ノ賦課ヲ受クル者ニ改メ以テ漏救者ナキヲ期シタリ。

一、後半年ニ於テハ特ニ積雪地方ノ實狀ヲ考慮セラレ御下賜金及國費ヲ増額交付セラレタルヲ以テ出張診療醫ヲ督勵シ且ツ冬期間權ノ使用ヲ認メ萬難ヲ排シテ實施スルニ努メタル結果本年ハ稀有ノ大雪ナリシモ相當ノ實績ヲ收メ得タリ。

一、醫藥ニ恵マレザル僻陬部落ニ於ケル救療ノ一助タラシムル爲千七百餘戸ノ貧困家庭ニ對シ常備藥トシテ賣藥十數種ヲ組合セ配給シタリ。

埼玉縣

實施ノ概況

一、縣下醫師アル二三四市町村ニ對シ既設醫療機關ヲ利用シテ委託診療ヲ爲ス。

二、巡回診療醫ニテ診療シタル結果重患者ト看做シタル時ハ委託診療券ニ依リ治療ヲ受ケシム。

三、巡回診療醫ニ於テ二日以上投藥シ得サル者ニ對シテハ處方箋券ヲ以テ調劑ノ便ヲ計レリ。

四、本年四月一日ヨリ縣下三六三ヶ市町村ニ對シ齒科治療券ヲ發行シ醫療ノ資ナキ窮民ニ對シ治療ノ範圍ヲ定メ齒科治療ヲナシ益々救療ノ充實ヲ圖レリ。

巡回診療實施概況

△昭和七年度繼續

再 錄

一、方法

巡回診療班ヲ設ケ縣内醫師ナキ村一三一ノ内最モ醫師ニ遠キ村四二ニ一週一回自動車ヲ以テ無料診療ヲ行フ。

二、組織

囑託醫師囑託看護婦各一名宛ヲ以テ六班ヲ組織ス。

三、開始日並巡回村數

第一班	昭和七年度ヨリ繼續	六ヶ村
第二班	同	八ヶ村
第三班	同	六ヶ村
第四班	同	八ヶ村
第五班	同	六ヶ村
第六班	同	八ヶ村
計		四二ヶ村

毎日午前九時ヨリ午後三時マデ
但一日二ヶ村ノ場合ハ

自午前九時 至正午
自午後一時 至同 四時

四、患者取扱實人員

二〇、五四九

五、治療延日數

二二一、三七〇

六、經費

金參萬貳千七百五拾參圓也

七、其ノ他

(イ) 投薬ハ二日乃至七日分トシ患者ノ事情ニヨリ二日以上投薬ヲ爲スヲ得サル者ハ濟生會處方箋券ヲ交付シ附近ノ開局藥劑師ニ投薬セシム。

處方箋交付枚數

八百枚(五日券)

(ロ) 治療困難ナル患者ハ濟生會治療券ヲ交付シ開業醫師ニ委託ス。

B 臨時巡回診療

昭和八年六、七月早魃ニ因リ過勞ノ結果農村民心身共ニ疲弊甚シク病者續出セルヲ以テ八月ノ一ヶ月醫師大キ村ノ内定期巡回診療ナク醫師ニ遠キトコロニ對シ臨時ニ一班ヲ組織スルト共ニ巡回中ノ班ヲシテ巡回村ヲ増加シ午前午後ト巡回治療セシム。

巡回村數

一七

患者取扱實人員

六九四

治療延日數

四、九六四

栃木縣

實施ノ概況

本縣ニ於テハ縣ガ直接行フ巡回診療、出張診療及 恩賜 濟生會栃木縣ガ行フ委託診療ノ三方途ニヨリ實施シタルモノニシテ其ノ概況ハ左ノ如シ

一、縣ガ直接行フ施設

(1) 巡回診療

醫師、藥劑師、看護婦各一名ツツヲ以テ組織シタル巡回診療班二班ヲ編成シ一日一ヶ村ツツ順次巡回的ニ毎月四回以上巡回診療ヲ行フ而シテ其ノ方法ハ縣ニ於テ發行ノ無料治療券ノ交付ヲ受ケタルモノハ其ノ診療所ニ至リ治療券ヲ提示シテ治療ヲ受クルモノニシテ治療券ハ警察署長及町村長ヲシテ交付セシム診療施行ニ際シテハ各診療所毎ニ縣ニ於テ藥品施用

右者一家ハ肩書地ニ於テ實父万〇外四人暮シナルモ無資産ニシテ間口二間奥行四間ノ居宅ヲ借り受ケ洗張業ヲ爲シ居ルモノナルカ最近財界不況ノ爲メ一日ノ收入五、六十錢ニシテ之ニ依リ一家ノ生活ヲ立テ居ル中三女キ〇ハ昭和八年一月中心ヨリ不幸ニモ肺結核ニ侵サレ臥床シ居ルモ無資産ニテ前記收入ニテハ當抵醫療ヲ受クルコト能ハザルノミナラズ殊ニ家族中ニ肺結核患者アルコトヲ聞知シ之ヲ忌ミ洗張ヲ依頼スルモノモ少ナク益々生活苦ニ陥リ如何トシテ醫療又ハ生活ヲ立テント心痛シ居リタル處偶々濟生會ノ無料救療アルコトヲ聞キ之カ救療ヲ受ケタキ旨所轄警察署ニ申出之ガ治療ノ承認ヲ得昭和八年五月二十七日ヨリ濟生會ノ救療患者トシテ無料ニテ救療ヲ受ケ居リタルカ遂ニ同年九月二十五日死亡セリ又長男清〇〇モ同病ニ侵サレ本年三月三日ヨリ同様救療患者トシテ救療ヲ受ケツツアリシガ三月三十一日遂ニ死亡セリ。實父万〇ハ兩人共本來ナレハ自己ノ資力ニテハ醫療ヲ受クルコト能ハザルニ係ラズ長時日ニ亘リ無料救療ヲ受ケ全治ニ至ラス死亡シタルモノナレハ親トシテモ遺憾ト認ムル點ナク全ク己ムヲ得ザルモノニシテ斯クノ如ク長日月ニ亘リ治療ヲ受ケ得タルコトハ 皇恩ノ然ラシムル所ニシテ 聖恩ノ厚キニ感激シ居ル狀況ニアリ。

栃木縣芳〇郡山〇村大字八〇ノ大田〇幸次郎ハ妻田〇幸子トシテ二人共貧乏ニシテ生活苦ニ陥リ如何トシテ醫療ヲ受ケ得タルコトハ 皇恩ノ然ラシムル所ニシテ 聖恩ノ厚キニ感激シ居ル狀況ニアリ。

共ノ三

本人家族ハ夫重市ノ外子女四人ノ六人暮ニシテ無資産ニテ小作農ヲ爲シ漸ク生計ヲ立テ居ルモノナルガ同人ハ昭和八年十月中旬ヨリ子宮結締織炎ニ罹リタルモ之カ入院手術ヲ爲スニハ相當ノ治療費ヲ要シ目下ノ生活狀態ニテハ之ガ醫療費ヲ支出スルコト能ハザルノミナラス他ニ醫療費ヲ得ルノ途ナク全ク死テ俟ツヨリ外ナシト嘆息シ居リタル處之ガ事實ヲ聞知シタル受持駐在巡查ハ濟生會ノ救療ヲ受クベキコトヲ勸メタルニ同人一家ハ大喜ビ直ニ入院シ之ガ手術ヲ受ケ同十一月三十日全治退院シタルモノニシテ同人一家ハ勿論附近ノ者ハ何レモ 皇室ノ大御心ノ鴻大ナルニ感激シ居ル狀況ニアリ。

奈良縣

實施ノ概況

昭和七年度恩賜醫療救護實施計畫ト同様引續キ左記方法ニヨリ施行シタリ。

- 一、委託診療
治療券ヲ發行シ警察署長、市町村長又ハ、方面委員ヲシテ本縣恩賜醫療救護規程該當ノ患者ニ交付セシメタリ。
- 二、出張診療
縣下山間部ニシテ醫師常住セザル町村及在住セルモ地形交通其ノ他ノ關係上醫療ヲ受クルコト特ニ困難ナル別記地方ニ前年度ヨリ引續キ診療所ヲ開設シ定期的ニ出張診療ヲ行ヘリ。
尙出張診療所ノ設置ノ地方ニ於テハ一般村民ノ便ヲ計リ該當者ノ診療ニ支障ヲ來サザル範圍ニ於テ特ニ一般患者ノ診療ヲ爲サシメタリ。
- 三、既設施設施設ニ對スル補助
既設ノ二無料診療所ニ對シ利用患者ノ數ニ應ズル金額ヲ交付シテ治療ニ當ラシメタリ。
- 四、恩賜醫療救護救急函ノ配置
縣下山間部ニシテ醫師又ハ診療所ニ至ルニ山路相當ノ距離ヲ隔ツル地方ニシテ一旦要急ノ患者發生セル場合醫師ニ就クマデノ極ク簡單ナル應急處置ヲ講ゼシメル爲縣下一五二ヶ所ニ配置シタリ。
- 五、濟生會奈良縣支部ニ於テハ前年ニ引續キ、吉野郡野追川村池津川ニ醫師ヲ常住セシメ治療ニ當ラシメタリ。
- 六、恩賜醫療救護ノ趣旨ノ普及ノ徹底ニ關シテハ、七年度ニ於テピラノ配布恩賜醫療週間ノ實施等ニヨリ殊ニ其ノ効ヲ擧ゲタルモ町村長並方面委員等ノ諸會合ヲ利用シ一層趣旨ノ普及ニ努メタリ。

別記

出張診療所設置場所

- 一、山邊郡豊原村三ヶ谷
- 二、磯成郡多武峯村倉橋
- 三、宇陀郡内牧村高井
- 四、宇陀郡宇賀志村駒服
- 五、吉野郡白銀村平沼田
- 六、同 郡十津川村西中
- 七、同 郡同 村五百瀬

其ノ他特記スベキ事項

特ニ記スベキ事項ナキモ恩賜醫療救護ノ恩恵ニ浴シ多數ノ全治者ヲ出シ夫々更生ノ途ヲタドリ聖恩ノ鴻大ナルニ感謝ノ生活ヲナシ居レリ。

愛知縣

實施ノ概況

前年度ヨリ引繼キ施行中ノ時局匡救醫療事業ハ本年度ニ入り愈整理充實シ其ノ效果モ普及徹底シタリ
 本年度ニ於ケル總救療延日數三八一、五八五日實人員五〇、七二一人一日平均救療人員二〇四五人ニ及ベリ之ニ既設各種救療施設ニ依リ救療ヲ受ケタルモノ三、七六九人ヲ加フルトキハ本縣ノ推計ニ依ル要救療者五、九一六人ニ近ク殆ソド救療事業ノ充實ヲ見タルモノト云フヲ得ル狀況ナリ。
 之ガ都市農山漁村ニ於ケル施行ノ狀況ヲ述ブレバ都市ニ於テハ救療施設モ相當普及セルヲ以テ主トシテ之ヲ利用セシメ濟生會委託醫療制度ヲ以テ之ヲ完補シ農村ニシテ開業醫ニ便ナル地方ハ專ラ濟生會恩賜委託醫療ニ依リ又開業醫ヲ利用スルニ不便ナ

ル地方ニハ巡回診療班ヲ派遣シ、委託診療ハ勿論巡回診療班ヲモ利用出來ザルカ如キ邊陲地ニハ救急箱ヲ配置シ以テ之ガ施療ニ當ラシメ更ニ重病患者ニシテ自宅ニ於テ治療困難ナル者ノ爲メ豫メ名古屋醫科大學附屬醫院ニ恩賜醫療ニ依リ特設病床ヲ定メ之ニ收容シ充分ナル醫療ヲ受ケ得ル制度ヲ設ケ今ヤ縣下僻陬山村津々浦々ニ至ル迄鴻恩ニ均霑セザルモノナク其取扱ニ付テモ外來往診入院等夫々其ノ病狀ニ依レリ。
 本事業ハ何レモ畏クモ 皇室ノ窮リナキ御仁慈ニ基クモノナルコト及政府ニ於カレテモ國務多端ノ折柄特ニ本事業ノ爲メ多額ノ經費ヲ支出セラレタルモノナルコトヲ本縣直接ノ事業ニ従事スル係員ハ勿論委託醫療ニ付テモ常ニヨク各開業醫師各位ニ之ヲ體得セシメ受診者ニ對シテモ之ヲ傳達セシメ感謝感激ノ内ニ事業ヲ遂行セリ。

一、巡回診療

- (イ) 班 數 五 班
- (ロ) 班ノ組織 醫師、調劑員、運轉士、各專任一名
- (ハ) 巡回方法

一班ノ巡回區域ヲ平均一三ヶ町村トシテ其ノ中心地ニ駐在所ヲ設置ス、各班ハ診療用自動車ニ依リ一日二、三ヶ町村ノ割合ヲ以テ毎週一回同一町村ヲ定期的ニ巡回ス。

- (ニ) 町村數 七十ヶ町村
- (ホ) 診療成績

實 人 員	一、〇九五
治、療 延 日 數	二六一、七五九
一日平均治療人員	七二七

二、恩賜 濟生會委託診療

(イ) 醫師會ニ對スル委託

本縣ト醫師會トノ契約ニ依リ醫師會ハ所屬都市醫師會ノ會員ヲシテ委託ニ依ル醫療ヲ行ハシメ醫療委託料ハ日本醫師會健康保險點數計算規程ニ依リ點數ニ依リ計算シ一點ノ單價ヲ十錢トセリ。

(ロ) 齒科醫師會ニ對スル委託

醫師會ニ準ジ健康保險ニ依ルモノ、概ネ五割減ヲ標準トシ齒科醫師會ト契約セリ。

(ハ) 名古屋醫科大學附屬醫院ニ對スル委託

入院ヲ主トシ入院料(診斷、投藥、注射、處置手術等一切ノ治療費並ニ寢具賄及其ノ他設備ノ使用ヲ含ム)一日ニ付一回トシ平均六十名ヲ委託セリ。

(ニ) 診療成績

實 人 員	一、九八三人
治 療 延 日 數	五八、八七二日
一日平均治療人員	一六一人

三、救急箱

恩賜 濟生會ヨリ愛知縣總聯合衛生會ニ依託シ實施セシムルモノニシテ配置場所ハ區長、小學校、巡査駐在所、方面委員宅等トシ管理者ヲ定メ保管セシム、當初一二〇ヶ所ナリシモ其需用頗ル好評ヲ博シ漸次増加シ一九〇ヶ所ヲ設置ス。一ヶ所之個ノ創設費約十二圓トス

利用 成績

實 人 員	三六、六三三人
利用延人員	六〇、九五四人

一日平均利用人員

一六六人

其ノ他特記スベキ事項

農村漁村ニ於テハ經濟的疲弊ノ爲相當重病ナルニモ不拘開業醫師ヲ利用スルノ力ナク徒ニ病床ニ呻吟スルモノアル状態ナリシガ時局匡救事業ニ依リ暖カキ醫師ノ治療ヲ受クルコトヲ得聖恩ノ無窮ニ齊シク感泣スル所ナリ今其中ノ二三ノ例ヲ摘記スベシ

一、一鮮人青年ハ勞働中局所ニ相當重傷ヲ受ケケカラ枯息ノ治療ヲナス中丹毒ニ感染シ勞働不能ニ陥リ自殺ヲ決シ苦悶シ居タリシガ巡回診療ノ治療ヲ聞キ漸ク村役場ニ辿リ付キ泣テ其ノ窮狀ヲ訴ヘタリ村當局者ニ於テハ齊シク日本人タルヲ以テ巡回診療ノ惠ニ沿セ得ラル、ヲ以テ安心スベシト告ゲ尙聖恩ノ有難キヲ傳ヘタリ、

診療班ニ於テハ該治療ニハ設備不十分ナルニモ不拘ラズ注射處置等ニ依リ全員極力治療ニ當リ腐爛脱落スベキ局部ヲ治療セシムルニ至レリ村民ハ他ノ醫師ナラバ不潔ニシテ治療ニ莫大ナル經費ヲ要スレバ本人ガ貧困ナル故ヲ以テ到底斯ノ如キ親切丁寧ナル治療ハ出來サルニト深ク診療班ニ感激シ、本人ノ歡喜ハ例フルニモノナク特ニ鮮人タル關係上異常ノ感動ヲナシ如何ナル事ヲナシテモ 皇恩ニ酬ヒ奉ルト共ニ忠良ナル國民タルベキヲ誓ヒ人々ニモ語り目下喜々トシテ勞働ニ從事中ナリ。

二、某村ニ於テハ開業醫師ナク村民ハ頗ル醫療ニ困難ヲ感シ居タルトコロ巡回診療班ノ診療ヲ役場内ニテ開始シテヨリ村當局ハ特別ノ考慮ヲ拂ヒ聖旨ノ有難ヲ傳ヘ患者ノ取扱ハ懇切周到ヲ極メタル爲メ思想並ニ村行政止效果實ニ見ルベキモノニアリ遂ニ別ニ診療所設立ノ輿論起ルニ至リ、而カモ此ノ輿論ハ役場ノ移轉新築ノ動機トナリ其現實ヲ見タリ。

診療所ハ其ノ傍ニ別棟トシテ建設シ待合室八疊診療室六疊ノ二室ヨリナリ而シテ此診療所ハ初メトタン葺ニテ竣工シタルモ村會議員ノ意見ニ依リ更ニ之ヲ瓦葺ニ改メタリ、以上ハ如何ニ村民ガ此ノ事業ノ必要ヲ認メ又如何ニ聖恩ニ感激スルカヲ物語ルモノニシテ役場ノ新築移轉ハ全ク巡回診療ノ「取り持ッ線」ト云フベシ。

三、同村診療所ニテ診療ヲ受クルモノハ中ニハ從來税金ヲ納付セザリシモノモ貧シキ中カラ現金ヲ持參シ無料治療ヲ受クルハ

勿體ナケレバ租税トシテ收納セラレ度旨申出デタル者アリ。
又 聖恩ニ慣ル、ハ畏レ多キ爲メ喜捨箱ヲ作り其ノ淨財ニ依リ神棚ヲ造リ感恩ノ情ヲ述ベ度キ希望ヲ申出タルモノアリ。
何レモ美談ト稱スベシ。

尙本縣ヨリハ左記ノ如キ報告アリタリ。

濟生會救護事業ハ本縣ニオキマシテハ從來名古屋市中軸トシテ施行セラレ來タツタニアリマスガ之ニテハ 優渥ナル聖恩ニ報ヒ奉リ施藥救護ノ濟生道ヲ弘布シ得ザルヲ三省致シマシテ殊ニ近年經濟界不況ノ爲極度ニ疲弊困憊セル農山漁村ノ現狀ヲ顧ミマシテ濟生會ノ攝取不捨ノ救護ヲ郡部僻陬ノ地マデ擴ゲ以テ聖澤ノ普編化ヲ企圖シタ次第デアリマス。開闢ノ地ニ先ヅ從來濟生會ノ救ヒノ手ノ延ビ得ナカツタ僻陬ノ地ニハ縣衛生課、方面委員、駐在社會事業主事補、町村吏員等ト相互緊密ナル連絡ヲ保チカード階級生活者ノ一人ノ病苦ニ泣ク者無キヲ期シタデアリマス。殊ニ昭和七年十二月開設シマシタ救急箱「ハ唯今迄容易ニ醫療ノ惠澤ニ浴シ得ヌ醫療機關ノ稀薄地四十九ケ町村ニ百九十九ケ所ノ設置ヲ見ルニ至リ着々應病施藥ノ實ヲ擧ゲツ、アリ之ガ恩澤ニ浴シタルモノハ勿論、部落民ハ何レモ聖恩ノ無窮ニ感泣シテ居ル次第デアリマス今其ノ一二ヲ記スレバ次ノ如シ。

一、患者ノ感激

額○郡○崎村○万町 萩○カ○

私ハ老年デ此山間ニ一人デ隱居シテ居マス六月始メニ茶摘ミニ出テ轉倒シヒドク體ヲ痛メマシテカラ膏藥ヲ張ツタリ色々シマシタガ惡クナルバカリデ水モ汲メナクナリ日々ノ生活ニ困ツテ居マシタガ配給所ノオ藥ヲ塗布シテ頂イテカラスツカリ治リマシタ醫者ガ遠ク殊ニ體ガ痛イノダカラ無論通ヘス老人ノ一人者ニテ何ト言様モ無イ程困ツテ居マシタノニオ助ケテ頂イテ一生涯コンナ有難ク嬉シイコトハアリマセン。

二、部落民ノ感泣

西加○郡小○村田○ ○藤○一

日進月歩ノ今日ト雖モ當村田○ハ醫師ヲ招クニモ一日又ハ二日位カ、ルコトアリ爲ニ手後レ等生ズル事度々デアリマシタ

(中略) 救急箱配置下サイマシテカラ大病人モ少クナリタ、感謝、感涙ニムセブ者デアリマス。天ニ拜シ地ニ伏シテ有難イ施設ニ對シ厚ク御禮ヲ申上ゲマス 合掌

次ニ委託醫療事業ニ就テハ名古屋醫大、縣立岡崎病院、縣醫師會ヲ通ジテ要救療者ノ救療ニ遺漏ナキ様全力ヲ傾倒シテ居ル次第デアリマシテ醫療券ノ發行日ヲ追フテ増加シ御恩澤ニ浴スル者ノ多キヲ加ヘテ居ル有様デアリマス。此ノ外醫療ノ普及徹底ヲ期スベク市内ニ於テハ下奥田町濟生會名古屋診療所ヲ始メ愛知縣社會事業協會ノ經營スル平野町共存園診療所、同ジク郡部ニオキマシテハ瀬戸市、津島町、安城町ニハ診療所ヲ開設セラレタルアリ濟生會醫療救護ニ大イナル利便ヲ提供シツアル現況デアリマス。

静岡県

實施ノ概況

本醫療救護施設實施以來半歲ヲ閱シタル八年度ニ於テハ 御聖旨ニ副ヒ奉ル様救療洩等無カラシムル爲メ市町村當局並ニ關係方面ニ對シ督勵ノ結果其ノ成績ノ見ルベキモノアリテ縣民ノ生活ヲ安ンゼシメタルモノ多クアリ尙醫師ナキ町村並ニ醫師アルモ共ノ便ヲ缺ク僻陬地區ニ設ケタル縣施設ノ出張診療所五十ヶ所ハ其ノ地元民ヲシテ醫師ノ診察ヲ受ケテ天壽ヲ全フスルコトヲ得ルトイフ點ニ於テ其ノ居ニ安ンジテ生業ニ就キ之ガ施設ニ對シ感謝シ居レリ。

山梨縣

實施ノ概況

一、救療ノ範圍